

【標準仕様】 段無飛鳥野瓦 段付飛鳥野瓦 *は働き寸法を表します。
注：製品寸法には、バラツキがありますので出荷ロット毎にて、ご確認ください。

段無飛鳥野瓦 	段無飛鳥野軒瓦 	段無飛鳥野平唐草 	段無飛鳥野軒巴 	飛鳥野軒瓦用敷平 	本葺素丸 段無5.0寸 (段付5.2寸)
段付飛鳥野瓦 	段付飛鳥野軒瓦 	段付飛鳥野平唐草 	段付飛鳥野軒巴 (段有) 	段付本平 	段付素丸
9×尺本平 	9×尺敷平 図は切込有り 	9×尺平唐草 	軒巴 	葺唐草 	葺巴
9×尺掛二の平 図は左 	掛唐草 	掛巴 (アゴ付き) 	掛巴 (アゴ無し) 	拝掛唐草/拜二の平 	拜巴 (アゴ付き)
拜巴 (アゴ無し) 	飛鳥野隅平唐草 羽根は段付用 	飛鳥野隅二の平 	9×尺隅平唐草 	9×尺隅二の平 	9×尺隅敷平
大隅巴 (アゴ無し) 図は5寸 	袖丸 図は左 	鞠 (うっぱ) 唐草 (重箱) 	段無飛鳥野用面戸 かに面戸 大棟用 隅かに面戸 隅棟用 (図は右)	段付飛鳥野用面戸 段付=5.2寸兼用 かに面戸 大棟用、掛用 隅かに面戸 隅棟用 (図は右)	9×尺用面戸 かに面戸 大棟用、掛用 隅かに面戸 隅棟用 (図は右)

【標準仕様】 巴紋柄=京花紋・剣模様=全柄中剣京花模様

粘土瓦製品の特性についてのお願い/ご注意

瓦は粘土を原料とした焼成品です。粘土は採取場所により、その成分・性質は微妙に異なり、均一ではありません。「瓦は天然原料を使った自然素材である」ことをご理解頂き、その特性を予めご承知下さい。

- 粘土成分の違いや焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な「色ムラ」が発生する場合があります。
- やき物の特有のネジレや、寸法のバラツキがあります。葺き上げ後に瓦と瓦の間にスキマが発生することがあります。
- 施工後、色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根材としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
- 「いぶし瓦」は経年の変化による、黒ずみなどの色変化が発生する場合があります。

生ずる場合があります。これは自然素材であるいぶし瓦特有の現象であり、品質の劣化を伴うものではありません。



黒ずみ

- 養生テープなどを直接貼り付けると、銀光沢がはがれてテープの跡が黒くなりますのでご注意ください。
- 「いぶし瓦」は雨水により点状の赤錆が発生する場合があります。これは品質的な劣化ではなく、表面層での一時的な現象であり、拡大したり、また内部に進行するものではありません。
- 日当たりの悪い場所、湿度の高い場所に施工された瓦には、「コケ」や「カビ」が発生することがあります。これは瓦表面層に発生しているものであり、屋根材としての品質・性能を損なうものではありません。

- 「銀いぶし瓦」の製造過程において瓦素地表面に円形の跡が残る場合がありますが、屋根材としての機能を損なうものではありません。
- 運搬、施工時に軽微なスレ疵、欠けなどが表面に付く場合がありますが、屋根材としての機能を損なうものではありません。
- 「銀いぶし」の表面は、品質特性として炭素被膜がコーティングされています。粘着性のものを貼ると被膜が剥がれ、黒い層が露出してしまいますので、養生テープなどをご使用の際はご注意ください。



▲安全に関するご注意

- 当社製品の使用に際しては、「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に基づいて施工して下さい。
- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談下さい。
- 寒冷積雪地域・強風地域・多雨地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合は、専門工事業者にご相談下さい。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計して下さい。特殊な工事を行う場合は、専門工事業者にご相談下さい。
- われ物につき、運搬・解梱・積み上げにご注意下さい。

● 標準屋根勾配とその流れ長さ

標準屋根勾配	4.0/10	4.5/10	5.0/10	5.5/10	6.0/10
その流れ長さ	8m	10m	12m	15m	17m

【注1】これは瓦を安心してお使い頂くための標準値です。
【注2】屋根勾配が4/10未満の時は、専門工事業者にご相談下さい。

EISHIRO 栄四郎瓦株式会社
栄四郎瓦 ←検索

本社 447-8512 愛知県碧南市白沢町1-38
Tel: 0566-48-5111 / Fax: 0566-48-2416
関東営業所 321-3233 栃木県宇都宮市上籠谷町3097-3
Tel: 028-612-5823 / Fax: 028-612-5824
九州営業所 849-0101 佐賀県三養基郡みやき町原古賀5529
Tel: 0942-94-4460 / Fax: 0942-94-4383

● 製品は改良のため、予告なく変更することがあります。 ● 本パンフレットは印刷物のため、現物の色と若干異なる場合があります。



「平」と「素丸」の一体化が、工期短縮・工費節約を実現

飛鳥野瓦



段付 / 台蔵寺



段無 / 浄明寺

飛鳥野瓦

瓦の故郷わが三州——伝統の技術に培われた「銀いぶし瓦」が、新たな日本の風景と歴史を紡ぎ出し、とこしえの春秋を織って行く。

平瓦と素丸瓦の一体化による工期短縮・工費節約は大きな魅力です。しかし、これだけではありません。ズレを防ぐ「引掛け棧工法」ですから、急勾配屋根にも安心です。歴史に裏打ちされた三州瓦の確かな技術と技能が生んだ飛鳥野瓦——これからの堂宮建築の指針ともいえます。



段無 / 天平ろまん館

段無 飛鳥野瓦 社寺などの伝統的ニュアンスを取り入れた現代建築にも対応します。



段付 飛鳥野瓦 本葺瓦と変わらない表情を持ち、荘厳な既存の社寺伽藍に適応します。

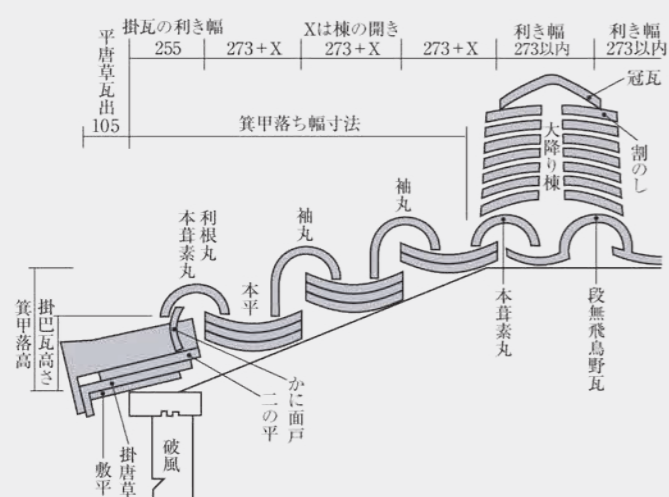


段付 / 大石寺

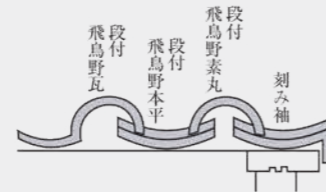


段無 / 龍谷大大宮図書館

【本掛箕甲納まり図一例】



【段付飛鳥野袖掛納まり図一例】

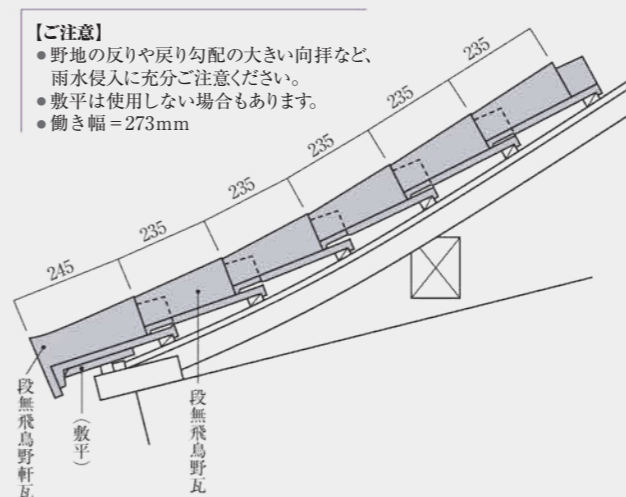


【葺上がり重量の比較】

	葺き上げ3.3m2当たり	
	1枚当たり重量	枚数 重量
段付飛鳥野瓦	3.5kg	52 183kg
段無飛鳥野瓦	3.5kg	52 183kg
在来型	9×尺本平3.3kg	96 403kg
	径5寸素丸1.96kg	44 葺土(除外)

意匠登録 / 第549771号

【段無軒納まり図一例】



【段付軒納まり図一例】

